

活動名：ワークショップ（工作教室）

<事業の趣旨及び内容>

「小さな親切」運動本部の青少年すこやか育成事業と連携して、「親切」についての理解を楽しく学び合うほか、廃物利用工作を通して、子どもの想像力と創造力を育むとともに、SDGs達成に向けた学びの場を提供する。

1. お話タイム

○講師：【山本 拓 先生】元教員、現在は敦賀市教育委員会生涯学習課で社会教育指導員、人権を学ぶ道徳教育の授業を各小中学校に出向いて行う。

○テーマ：「できる親切（人のために、自分のために）」

○時間：20分間

○内容：小学校低学年でも理解できる様々な具体例を用いて、人にやさしく、人を一人にさせない、人のために行動すること（しんせつ）の大切さをユーモアたっぷりに語りかける授業（お話タイム）を展開。



2. 工作遊び

○講師：【有賀 忍 先生】愛称は「チャンシノ」、79歳、絵本作家・板絵作家。大学の客員教授を歴任し、「実践遊び学」「絵画表現活動」「造形表現活動」等を専門とし、作って遊ぶ工作と廃物利用工作を行う講師として、「小さな親切」運動本部の青少年すこやか育成事業と連携。

○テーマ：「コロコロ・ドン」～つくって あそぼう！ おいかけ あそぼう！ ぶつけっこして あそぼう！～

○時間：80分間

○内容：ビー玉・回転ごろごろ TOY①とさか立ち・回転ごろごろ TOY②の2種類のおもしろ工作を作り、全身を使って工夫して遊ぶ。工作材料は、事前に講師が用意し配送したものを使用。

<活動の様子>…参加児童11名、保護者・付き添い6名、講師・運営・担当者13名 計30名



・世界に一つしかない自分だけの「さか立ち・回転ごろごろ TOY②」…絵が鉄棒につかまったり、さか立ちをしたりしながら回転する。



・出来上がったものを、坂を使って夢中になって転がして遊ぶ子ども達…どうしたら真っすぐに、遠くまで転がるか夢中になって遊ぶ。

◎ 事業の成果

参加した子ども達は、このお話タイムと工作遊びに参加して、見る見るうちに表情が柔らかくなり、笑顔が増えた。これも、講師の山本 拓 先生と有賀 忍 先生のユーモアあふれる情熱的な話術によるもので、周りで見ている保護者や引率者、担当者も心がほぐれ、あっという間の楽しい2時間を過ごすことができた。

廃物利用工作を通して、生活の中で必要でなくなったものを工夫しながらおもちゃにして遊ぶ楽しさを、子ども達は感じてくれたのではないかな。ただ作るだけでなく、作ったもので遊びを工夫することで子ども達の成長が図られるとの講師の思い・意図がよく伝わり、東京から講師を招いて行った今回のワークショップは、学びの多いものになった。